

今後の管理のポイント

- ✓ 分けつの発生を促進させる適切な水管理を行いましょ
- ✓ 使用時期を見ながら、適期に雑草防除を行いましょ
- ✓ 補植用苗は速やかに処分し、いもち病の発生を抑えましょ

1. 気象経過

- 4月の気温は過去5か年より高く、日照時間はやや少なく、降水量は少なくなりました。全般に気温が高い日が多くなりましたが、上旬は強い寒気が南下し雪となる日があるなど、寒暖の変動が大きくなりました。
- 5月の気温は過去5か年より僅かに低く、日照時間は僅かに多く、降水量は多くなりました。平均気温及び日照時間は第1、4半旬を除き、過去5年を下回りました。7、8日にかけての90mmを超える降雨以外は、降水量は全般に少なめでした。

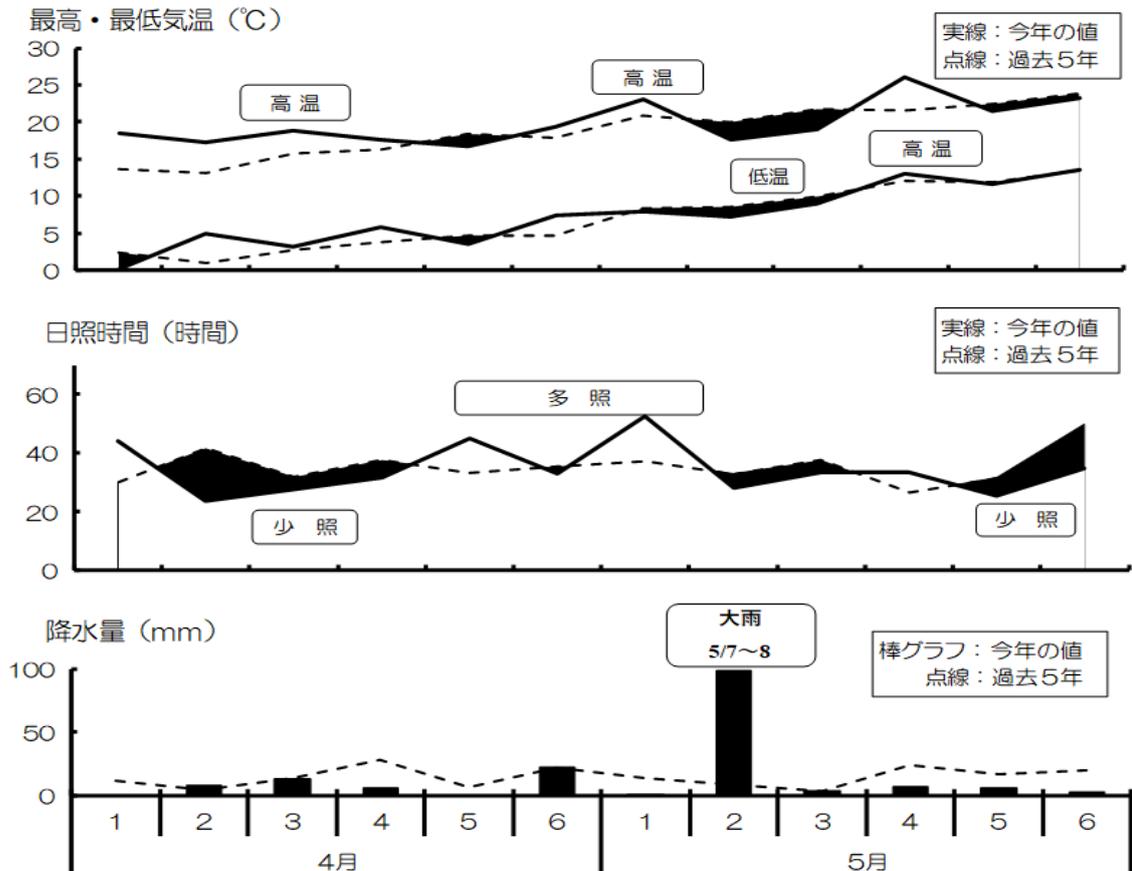


図1 4・5月の気象 (古川アメダス) ※過去5か年平均値との比較

2. 播種・田植え状況

- 管内の播種始期は平年より2日遅く、盛期・終期は平年より2日早くなりました。育苗期間中は最高気温の高い期間があり高温障害も散見されましたが、概ね良好に経過し、病気の発生は比較的少ない傾向となりました。
- 田植盛期は管内全体として平年並となりました。

表2 管内の播種・田植状況

	播種			田植		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
管内全体	3月31日 2日遅い	4月8日 平年並	4月30日 1日遅い	5月2日 1日遅い	5月10日 平年並	5月19日 平年並
県全体	4月2日 平年並	4月11日 平年並	4月21日 平年並	5月4日 平年並	5月12日 1日遅い	5月23日 1日遅い

※「始期」は作付見込み面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行した時期とし、平年差は前5か年（平成30年～令和4年）との比較

3. 生育概況（6月1日現在）

- 草丈は短めのほ場が多くなっています。、葉数・茎数は上旬移植では平年を上回っていますが、中下旬移植では平年を下回っています。5月は風が強い日が多く、田植え後に植え傷みが発生したほ場では、初期の生育が停滞したと推察されます。現在は平年並に回復してきています。

表3 生育調査結果

品種名	地区名	田植月日	田植時			6月1日			備考
			草丈(cm) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	植付本数 (本/m) (平年比)	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月5日 (+1)	13.4 (111%)	3 (+0.7)	73 (94%)	24 (97%)	163 (118%)	5.7 (-0.1)	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月17日 (+1)	14.4 (91%)	3.3 (0.0)	55 (81%)	22.2 (98%)	62 (79%)	5.2 (+0.5)	
ササニシキ	大崎市古川	5月5日 (-4)	12.3 (87%)	3 (+0.3)	74 (99%)	23.3 (91%)	146 (162%)	5.2 (-0.2)	
つや姫	色麻町四竈	5月4日 (0)	14.7 (90%)	2.3 (-1.1)	87 (106%)	23.2 (86%)	95 (47%)	5.3 (-1.1)	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月12日 (-3)	16.7 (108%)	2.8 (-0.4)	112 (139%)	28.9 (104%)	164 (212%)	5.3 (+0.6)	
金のいぶき	大崎市三本木	5月11日 (-3)	15.8 (99%)	3.6 (-0.1)	78 (95%)	26.3 (113%)	106 (106%)	5.7 (+0.7)	前年比・差
ゆみあずさ	加美町平柳	5月21日 -	11.9 -	2.5 -	59 -	16.3 -	82 -	3.8 -	新規
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月23日 (0)	14.4 (76%)	3.2 (0.0)	64 (98%)	12.1 (92%)	65 (90%)	3.2 (-0.1)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月17日 (0)	13.5 (92%)	2.8 (0.0)	101 (100%)	15.7 (67%)	104 (91%)	4.3 (-0.4)	
平均 (平年値のあるほ場のみ)		5月11日 (-1)	14.1 (98%)	3.0 (+0.1)	83 (103%)	22.8 (91%)	128 (132%)	5.1 (+0.1)	

※田植日の+は遅いことを、-は早いことを示す。

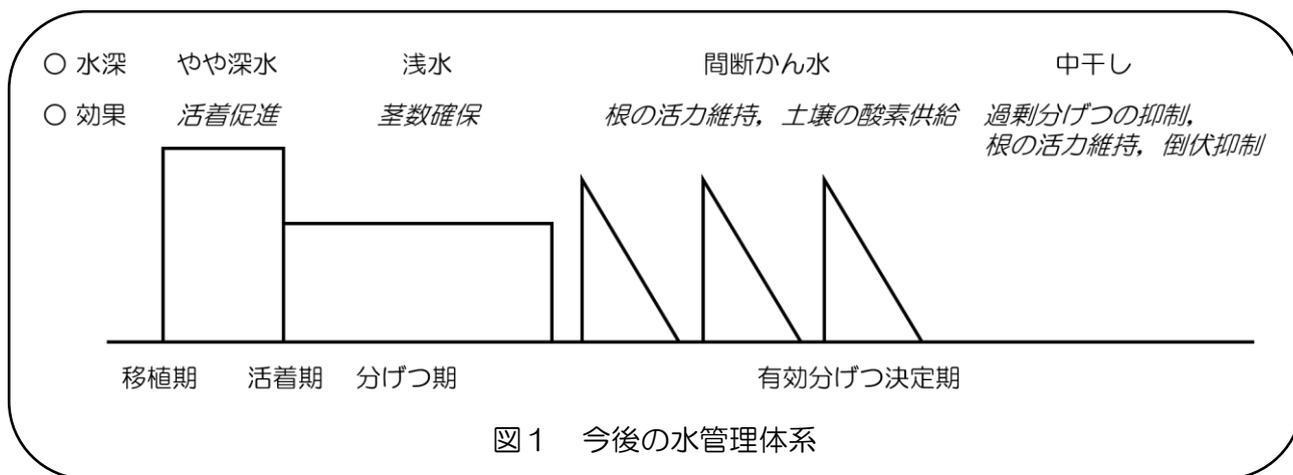
※平年比・差は前5か年（平成30年～令和4年）の平均値との比較
平年値のないほ場は前年比・差での比較

4. 今後の管理

- 1) 水管理 *活着期～分けつ期は2～3cmの浅水管理*

水管理は稲の生育を調整し、その後の収量・品質に影響する重要な管理です。天候や生育状況に応じて、適切な水管理を行いましょう。

- ✓ 2～3cmの浅水管理にすることで水温を上昇させ、分げつを促しましょう。
※ 低温が予想される時は5～6cm程度の深水とします。
- ✓ 根の活力維持のため、間断かん水と中干しを行いましょう。中干しは目標茎数に達したら、早めに行いましょう。
※ 目標茎数の目安
 ひとめぼれ 410本～460本/㎡
 ササニシキ 480本～510本/㎡
 だて正夢 350本～400本/㎡



2) 雑草防除 散布適期を見極め除草剤散布

雑草は稲の養分を奪うだけでなく、カメムシ類等の害虫を呼び寄せの原因となります。

繁殖力が高い雑草種もあるため、適切な雑草防除に努めましょう。

- ✓ 初中期一発剤を散布したほ場で残草が見られる場合は、中期剤・後期剤を散布しましょう。※散布時は雑草の種類・葉齢、稲の葉齢を確認しましょう
- ✓ 使用方法が「湛水散布」の除草剤は、田面が露出した状態だと除草剤効果の低下につながります。除草剤の散布時は畦畔からの漏水がないかを確認し、十分に水を張りましょう。
- ✓ 水田内のノビエやイヌホタルイ等の雑草は、カメムシ類を水田に呼び寄せ、斑点米被害の原因となるので、雑草防除を徹底しましょう。



図2 イヌホタルイとカメムシ発生について

～ ノビエ以外の雑草防除を行う際の注意点～

水田除草剤のラベルは「移植後5日～ノビエ 2.5 葉期」のように使用時期が記載されており、ノビエ以外の雑草種への使用時期は「使用上の注意事項」に記載されている場合があります。ノビエ以外の雑草が見られる場合は「使用上の注意事項」を読み、散布晩限に達する前に散布しましょう。

3) いもち病防除 補植用苗は速やかに処分

- ✓ 補植用苗（残苗）は本田でのいもち病発生の原因になります。補植作業が終了したら速やかに処分しましょう。
- ✓ 残苗でいもち病を確認した場合、周辺の稲で発生していないか確認しましょう。
- ✓ 飼料用米や直播栽培などで箱施用剤を施用していない場合は、水面施用剤を散布しましょう。

◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中（3月1日～6月30日）◆◆◆◆◆

農業機械作業による死亡事故割合が高い状況を踏まえ、①ほ場周辺の危険箇所の確認・改善及び危険回避行動の実践、②シートベルトとヘルメットの着用、③トラクターへの安全フレーム・安全キャブの使用の呼びかけを行います。

重点推進テーマ 「徹底しよう！農業機械の転落・防止対策」

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」

東北地方 1 か月予報

（6月3日から7月2日までの天候見通し）

令和5年6月1日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、平均気温は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方（太平洋）	20	30	50
【降水量】	東北地方	40	30	30
【日照時間】	東北地方	30	30	40

<気温経過の各階級の確率（%）>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方（太平洋）	20	40	40
2 週 目	東北地方（太平洋）	10	30	60
3～4週目	東北地方（太平洋）	30	30	40